

全国保健師教育機関協議会

Newsletter

2008年3月発行 第2号 責任者：会長 村嶋幸代

日本保健師連絡協議会発足

2008年3月22日(土)に東京大学山上会館で発起人集会在開催され、全国各地から約150名の保健師が参加し、「日本保健師連絡協議会」が発足しました。構成団体は、産業保健師活動研究会、社団法人日本看護協会、全国保健師教育機関協議会、全国保健師長会、日本公衆衛生看護研究会の5つの団体です。来賓として、久常節子看護協会会長が挨拶され、保健師の専門性を発揮するために、後輩を育てるために、組織を作って支えあい解決していくことが重要であるとの心強いお言葉をいただきました。

集会では、6つの提言がなされました。

- ①「地区担当を可能とする保健師の確保」
- ②「統括保健師の配置を実現しよう」
- ③「産業保健師の強化」
- ④「保健師の現任教育の充実」
- ⑤「看護系大学で保健師教育を卒業要件としていることの撤廃」
- ⑥「看護師養成4年、保健師養成上乘せ2年の教育体系を」

今後、次の活動を行っていくことが提案されました。

1. 行政及び産業領域で働く保健師の活動の強化を図るため、保健師の配置、現任教育の拡充等を検討する。
2. 地域包括支援センターや特定保健指導事業者等民間所属の保健師とも団結を図り、人材育成等の課題検討を行う。
3. 各分野間の保健師の連携強化を図り、必要な情報交換や相互研鑽ができる仕組みを創出する。
4. 保健師基礎教育の充実に向けた取り組みを行う。
5. 広く国民に保健師活動を周知する。

効果的な取り組みができるよう検討し、関係者機関とも連携し、相互に情報交換を行います。随時、実態調査や各地域や領域での交流集会等を企画実施していきます。保健師教育機関協議会も会員の皆様と一緒に積極的に活動し、保健師の質向上に関わっていきます。

集会では、会の趣意書、活動内容、規約、提言に対して、活発な意見交換が行われました。1つの課題に対して、各団体が一つになって取り組んでいく事業を企画し、誰もが参加できる会にしていくことが承認されました。*詳細は本協議会ホームページに掲載しています

全国助産師教育協議会との第2回情報交換会

平成20年3月21日(金)15時から17時まで、東京大学医学部教育研究棟で全国助産師教育協議会の平澤美恵子会長(日本赤十字看護大学)と茅島江子教育推進委員長(東京慈恵会医科大学)から、「助産師はどのようにして大学院教育を実現したか」について情報提供をしていただき、質疑応答と意見交換を実施しました。全国助産師教育協議会の取り組みの経過、助産師教育制度改革活動の枠組みなど、制度改革の実現に向けて行政、マスコミ対策、議員への働きかけなどの戦略を熱く紹介していただきました。

教員研修委員会

2008 年度教員研修会のご案内(第 2 報)

国民の健康管理の一翼を担う専門職である保健師の質を維持・向上するために、保健師国家試験受験資格を付与することができる養成機関として、卒業時の到達目標を具体的に教育計画に組み込む責務があります。現場では保健所や市町村の統合・合併、教育面では指定規則改正および保健師教育課程を有する教育機関の急増など、保健師の教育環境は著しく変化しています。そこで、今年度の夏季研修会は、「保健師教育課程卒業時の到達目標」をテーマとして、以下のように計画しましたのでご案内申し上げます。お忙しい時期とは存じますが、皆様のご参加をよろしく願いたします。

日 時 : 平成 20 年 8 月 2 日 (土) 10:00~16:00

場 所 : 東京大学医学部 教育研究棟 鉄門記念講堂およびセミナー室

内 容 : 午前 基調講演 「保健師教育課程の卒業時到達目標について」

講師 麻原きよみ先生 (聖路加看護大学 教授)

午後 シンポジウム テーマ「到達目標の具現化のための取り組み」

参加費 : 会員校 (一人 5 千円)、非会員校 (一人 1 万円)

主催 : 全国保健師教育機関協議会、担当 : 中国・四国ブロック会員校

問合せ先 : 徳島大学 多田敏子 (電話 088-633-9033, tada@medsci.tokushima-u.ac.jp)

国家試験対策委員会

平成 19 年度 第 94 回保健師国家試験不適切問題調査回収状況 (H20.2.27)

加入校 94 校のうち国家試験受験学生がいない機関 25 校 (大学 22 校、養成校 3 校) を除く。

回収状況 回収数 41 校 (回収率 59.4%)

1 教育機関種類別回収状況

教育機関種別	養成校			短期大学			大学			全体
	加入校	回答可能校	回答校	加入校	回答可能校	回答校	加入校	回答可能校	回答校	
回収数	22	19	16	6	6	5	66	40	20	
回収率	(16/19) 84.2%			(5/6) 83.3%			(20/40) 50.0%			(41/69) 59.4%

2 不適切問題の提出状況 (別紙 参照)

	総提出数	厚労省看護課長への意見
午前問題	38 問	3 問 (問題 27, 53, 62)
午後問題	16 問	2 問 (問題 5, 13)

3 その他意見

- ・ 全体的にはブラッシュアップされた問題になっている
- ・ 試験前の時計合わせの指示がない
- ・ 災害の問題数が多い
- ・ 試験が開始後、音をたててカーテンを動かした
- ・ 設問・選択肢の文章が説明不足
- ・ 照明が暗い
- ・ 状況設定と設問に関連性がないものがある

ブロック活動報告

中国・四国ブロック (理事 多田敏子)

以下のように平成 20 年度協議会および研修会を企画していますので是非ご参加ください。

日時：平成 20 年 8 月 8 日 (金) 10:30～16:00

場所：ホテル千秋閣

当番校：徳島大学

午前：協議会「全国保健師教育機関協議会理事会報告ならびに夏季研修会に関連した意見交換」

午後：公開研修会 演題 保健師教育課程教員の教育理念および技術

講師 宮内清子先生 (愛媛県立医療技術大学 保健科学部長)

午後の講演会は、非会員校および実習指導を担当くださる保健師の皆さんのご参加も歓迎しますので、お誘いあわせの上、ご出席ください。

連絡先 780-8509 徳島市蔵本町 3 丁目 18-15 徳島大学医学部保健学科 多田敏子

電話・ファックス 088-633-9033、e-mail：tada@medsci.tokushima-u.ac.jp

会場 ホテル千秋閣：宿泊も可能です。

〒770-0847 徳島県徳島市幸町 3-55(自治会館)

TEL:088-622-9121 (代)、FAX088-621-3344 ,e-mail:sensyukaku@ruby.nmt.ne.jp

関東甲信越ブロック (理事 奥山則子)

平成 20 年 3 月 24 日 午後 1 時～5 時 (加入校 26 校中 20 校中 36 名出席)

場所：日本赤十字看護大学 205 教室

内容 1) 定例研究会

議題：①理事会報告 ②平成 19 年度定例研究会事業報告 ③平成 20 年度定例研究会事業計画
④連絡 ⑤その他

2) 研修会 テーマ：グローバル化の時代と保健・医療・福祉

講師：松田 正巳氏(静岡県立大学看護学部 教授)

感想：保健師教育を担当する教員として、国の動き、社会の動きをよく理解したうえで、最近の法改正や保健・医療・福祉の実態を知り、生活障害を起こしている住民の立場に立って物事を考えたり、感じたりする必要のあることを再認識した講義内容だった。お話の中で、松田先生のお母さんに対する愛情を感じると共に、最近改悪の続いている日本の保健や保険・医療システムに対する先生の怒りが伝わってきた。(N.O)

平成 20 年度の活動予定は以下の通りである。

定例会及び研修会：5 月 8 日(木)午後、7 月 15 日(火)午後、平成 21 年 3 月 24 日(火)午後

ブロック通常総会・研究会：8 月 8 日(金)午後 茨城キリスト教大学にて

東海・北陸・近畿ブロック (理事 中川茂子)

2007年度の事業が3月18日の専門部会で終了しました。今年は新設大学の入会が多く現在29校、会員数も増え、専門部会への出席も予想を上回る30名の方の出席を頂きました。国家試験について、改正カリキュラムへの取り組み、坂本真理子先生、稲垣絹代先生の貴重な教育実践報告に盛り上がり、有意義な会で閉めることができました。

九州ブロック (理事 兼武加恵子)

平成19年度九州ブロック公開研修会を開催しました。

・平成19年12月22日(土)九州大学にて「これからの保健師活動と基礎教育の方向性」について、村嶋会長からご講演をいただき、その後、参加者の実習指導者・教員と講師で意見交換を行いました。(参加人員：68名)

・平成20年2月29日(金)熊本保健科学大学にて「保健師の歴史から～公衆衛生看護マインドを伝える教材～」について、九州看護福祉大学の名原壽子先生からご講演をいただきました。先輩保健師とそれを伝えられる名原先生の情熱に圧倒され、教員としては若い保健師へ教材化して継承していくことの責務を痛感しました。(参加人員：22名)

現在の加入校数 9校

北海道・東北ブロック (理事 白井英子)

*平成19年度東北ブロック教員研修会を2月23日(土)宮城大学で開催しました。テーマは「保健師教育の方向性」で村嶋会長から基調講演を頂き、その後、各校の臨地実習等について情報交換を行いました。参加者は25名でした。

*北海道ブロックは、3月8日(土)に「これからの保健師活動と基礎教育の方向性に関する討論会」を開催しました。加入校、未加入校の教員および保健所・市町村の実習指導保健師45名が参加して、教育上の問題点、現場の状況や実習指導で大切にしたいこと等意見交換できました。

2008年度全国保健師機関協議会総会のお知らせ

開催地 福岡県福岡市(当番校 福岡県立大学看護学)

日程 2008年11月4日(予定)

現在の会員数	94校
大学	66校
短期大学	6校
専門学校	22校

<編集後記>本協議会からのニュースレター第2号をお届けします。看護教育制度を巡って、大きな転換期にありますが、歴史の教訓を活かして、将来をしっかりと見据えた保健師教育を残していきたいものです。

本協議会の使命が大きく問われております。会員一人一人の意見も大切にしたいニュースレターづくりを目指していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。広報委員：後閑容子・白井英子

全国保健師教育機関協議会 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号財団法人 日本公衆衛生協会内

Tel 03-3352-4281 Fax 03-3352-4605 URL <http://www.zenhokyo.jp/>